



NO. 2681 回 社会公益賞・キワニス文庫贈呈式

日 時 : 令和7年7月18日(金)
場 所 : マリオットアソシアホテル16階 アイリス
出席者 : 68名
一日議長 : 築山会長
ハッピーボックス : 10,000円

☆今週のお誕生

お誕生日の方はどなたもいらっしやいません。

I. 第56回社会公益賞・第51回キワニス文庫贈呈式

1. 会長挨拶

第56回社会公益賞・第51回キワニス文庫の贈呈式に当たりまして一言ご挨拶申し上げます。

本日の贈呈式には受賞団体を代表されまして、次の5名の方にご臨席頂いております。

特定非営利活動法人 トルシーダ

代表理事 伊東 浄江様

特定非営利活動法人 再非行防止サポートセンター愛知
理事長 高坂 朝人様

公益社団法人 日本海員掖済会 名古屋掖済会病院
院長 北川 喜己様

公立西知多総合病院 院長 吉原 基様

名古屋市西部地域療育センター

所長 宮地 泰士様

お忙しい中、ご臨席賜り心より御礼申し上げます。

本日贈呈いたします「社会公益賞」は、社会公益のために、長年に亘って献身的な努力を続けてこられた方々の、その功績に敬意を表すとともに、その存在を広く知っていただくという趣旨のもと、1968年からお贈りしているもので、今年で56回目を迎えました。また「キワニス文庫」につきましては「子どもたちが、本に親しみ、本を大好きな子どもたちに育ててほしい」との願いを込めて1975年から毎年子どもたちに本を贈っているもので、今年で51回目を迎えました。

本年は先程の受賞団体に贈呈させていただきます。選考経過等につきましてはこの後、入谷文化公益委員長から報告いたします。なお、本日受賞された皆様のほかにも、子どもたちのためそして、社会のために、日頃から献身的な奉仕活動をされている団体が多数ございます。これらの方々に対しましても、心から敬意を表すものであります。

私たち名古屋キワニスクラブは、1966年の創立以来半世紀を超えまして、来年60周年を迎えます。この間我が国の社会は大きく変化しています。そして子どもたちを取り

No.2682 令和7年7月25日(金)
岐阜大学 客員教授
名古屋都市センター 特任アドバイザー
加藤 義人 氏
「リニア時代の名古屋創生
— 衰退前夜の名古屋の行方 —」

No.2683 令和7年8月1日(金)
【がバナー公式訪問】
国際キワニス日本地区
ガバナー 名越 隆雄 氏
「北海道の一キワニアンとしての歩みと
グアテマラとの関わりについて」

No.2684 令和7年8月8日(金)
名古屋国際工科専門職大学
デジタルエンタテインメント学科
教授 佐藤 久美 氏
「共感がひろく多様性の扉
— あいち国際女性映画祭 30周年 —」

8月15日(金)は
お盆休みのため休会です。

No.2685 令和7年8月22日(金)
株式会社角谷文治郎商店
マネージャー 角谷 文子 氏
「愛知の醸造文化と三河みりん」

No.2686 令和7年8月29日(金)
【持出例会】
あいち妖怪保存会 共同代表
妖怪文化研究家 島田 尚幸 氏
「地域と繋がる妖怪文化 地域に広がる妖怪文化」
**※通常の例会と会場が異なりますので
ご注意ください。**
(会場: 名古屋ビルヂング33階 オルクドール)
※現地集合・現地解散です。

巻く環境も複雑化し様々な問題がますます顕著になってきています。子どもたちについての厳しいニュースに接するたびに、当クラブといたしましても、長年にわたる奉仕活動を、これまで以上に充実していかなければならないと思っています。改めまして皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びといたしまして、本日の贈呈にあたり、ご尽力いただきました当クラブの文化公益委員会、広報委員会そして地方公共団体をはじめ多くの関係の皆様、心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

2. 選考経過報告 入谷文化公益委員長

文化公益委員会委員長の入谷でございます。選考経過及び選考理由について簡単に述べさせていただきます。

社会公益賞ならびにキワニス文庫の贈呈候補先につきましては、本年度も従来と同様に、会員の推薦、愛知県・名古屋市など行政機関の情報を参考にして、4回にわたり委員会を開催して贈呈候補先を検討してまいりました。社会公益賞については、前年度からの持ち越し分を加えた候補先6団体を対象にして活動内容、活動期間、財政状況などの観点から文化公益委員会の各委員が評価し、その結果から贈呈候補先を絞り込み、例会講師に招き講演を聞いて、活動実態を確認してから最終決定することとしました。

また、キワニス文庫の候補先は4件ありましたが、施設や利用の状況、財政状況、地域等を勘案して選考しました。贈呈候補先については、2病院を訪問し、施設の状況や図書の整備状況を把握してまいりました。その結果、文化公益委員会として社会公益賞2団体、キワニス文庫3団体を推薦し、役員会で正式決定していただいた次第です。

続きまして贈呈先の概要を説明させていただきます。

社会公益賞について、最初に、特定非営利活動法人 トルシーダ様でございます。本法人は、2003年11月、豊田市の保見団地を中心に、外国籍の青少年あるいは外国籍住民に対して、日本での生活を支援する事業を行い、外国籍の青少年が地域社会のみならず国際社会に貢献するかけがえのない人材に成長していくことに寄与し、日本語教育を通じて外国籍住民と日本人住民との交流と相互理解を促すファシリテーターとしての役割を果たすことを目的として設立され、今日まで約22年間活動を続けてこられた法人です。愛知県は日本語指導を必要とする児童生徒が日本一多い県です。外国人の子どもは義務教育の対象とされていないこと、地域によって支援の温度差があること等、様々な課題がありますが、本法人は、居場所としての日本語教室を運営し、彼らに寄り添うことを大切にされてきました。近年では日本の義務教育年齢を過ぎて来日する若者に対する進学指導、ブラジル人学校の生徒に対するキャリア支援など、外国ルーツの全ての子どもや若者を対象に幅広い活動を展開しています。多様な人材がそれぞれの能力を活かした活躍が求められる現代において、本法人の活動を支援することは、社会貢献として意義があると考え、社会公益賞を贈呈します。

次の団体は、特定非営利活動法人 再非行防止サポートセンター愛知様です。

この法人は、非行から立ち直った経験をもっている社会人を含めた多数の協力者により、その経験と知識を生かして愛知県内の再非行防止に取り組み、非行少年の立ち直りを支援することを目的として2014年に設立されました。

『非行を行った、少年・少女の本音と希望を基に、再非行防止サポートを実施し、再非行を減らし、笑顔を増やしたい』という設立趣旨のもと、「四つ葉の再非行防止サポート」を行っています。この四つ葉の再非行防止サポートとして、①再非行防止施設内サポート②再非行防止社会内サポート③再非行防止衣食住サポート④再非行防止家族向けサポートを行っています。さまざまな理由から法律を犯し、非行に走る少年・少女が後

を絶たない世の中で、立ち直りには本音と希望に沿った『住まい』『日中生活』『余暇』が揃うこと、そして、夢・目的・目標を定めながら、繰り返していくことが必要と考えて活動されています。本法人の活動を支援することは、社会貢献として意義があると考え、社会公益賞を贈呈します。

次に、キワニス文庫でございますが、贈呈先は3団体でございます。いずれの団体も図書を更新や増強の必要性、有効性が高く、運営体制も十分に認められるので、キワニス文庫を贈呈するものであります。

最初は、公益社団法人 日本海員掖済会 名古屋掖済会病院 小児科様でございます。名古屋掖済会病院は、1946年に日本海員掖済援護会において名古屋に病院建設を決定しその後1948年に診療を開始しました。「えきさい」すなわち、「導き、たすける」の精神に基づき、地域の皆様との信頼関係の上に成り立った、安心して安全な医療を目指すことを基本理念としています。2020年4月1日には、このような掖済会の事業の公益性が認められ、新たに公益法人として認定されました。

小児科病棟には図書室とプレイルームがあり、入院患者は1日3冊まで借りられるようになっており、利用患者も多く図書が有効活用されています。

贈呈先の二つ目は、公立西知多総合病院 小児科様でございます。

公立西知多総合病院は、2015年5月に東海市民病院と知多市民病院を統合して開設されました。基本理念として「すべては患者さんのために」を掲げ、患者さんの生命と人権を尊重し、安心・安全な医療の提供を目指しています。また、地域の基幹病院として、救急医療と急性期医療の充実に努めています。

小児科病棟にはプレイルーム、小児科外来には小児専用の待合室があり、患者のストレスや待ち時間の負担を緩和しています。病院の2階には、患者が利用できる患者サロンの部屋があり、児童コーナーも設けられ、入院患者には本の貸出しも行っています。また付き添いで病院に来た子どもたちも利用することができます。

病棟、外来、患者サロンの3つのエリアで図書が積極的に活用されています。

贈呈先の三つ目は、名古屋市西部地域療育センター様でございます。

名古屋市西部地域療育センターは、児童福祉法第43条に規定する「児童発達支援センター」及び医療法第1条の5第2項に規定する「診療所」を一体的に運営する施設で、障害のある児童及びその疑いのある児童又はその保護者に対し、相談、検査、医療の提供及び療育訓練を行うことにより、障害の早期発見及びその軽減を図ることを目的としています。当センターは図書に割く予算があまりないのが実情ですが、子どもたちの発達や成長に多くの絵本や紙芝居、大型絵本に触れる事が重要な役割を担っています。

以上で選考経過報告を終えさせていただきます。

3. 社会公益賞 受賞2団体に、表彰状ならびに賞金各50万円 総額100万円を贈呈
キワニス文庫 受賞3団体に、児童生徒用図書各23万5千円 総額70万5千円相当を贈呈

4. 受賞者ご挨拶

特定非営利活動法人 トルシーダ 代表理事 伊東 浄江 様

この度は社会公益賞に選定いただき、誠にありがとうございます。

トルシーダは2003年に日本の学校へ行っていない外国ルーツの子どもの居場所づくりの活動を始めました。当時は日本に住む外国人の割合が1%を超えたぐらいのタイミングで、その1%の中の子どもたち、さらにその中の学校へ行けない子どもを対象としていることに、草の根以下の地下活動と揶揄されたこともあります。また、外国人が集住する保見団地という見えにくい地域で続けてきた活動で、孤立感を抱き続けた時期もあります。

そんな活動に対し、この度世界の子どもの支援をしておられるキワニスクラブ様から表彰いただけることは、何か大きく広い温かい価値観とつながれたようで、嬉しいだけではなく、大きな励みでもあります。

2019年には文部科学省が初めて外国籍の子どもの就学状況を調査しました。義務教育段階の年齢にある子どもの7.5%にあたる1万46人が不就学か就学していない可能性があるとの結果が出ました。日本の学校で求められる均質性や日本語能力を思うと、全ての子どもが教育を受けられることは簡単なことではないと感じます。しかし、外国籍の子どもが安心して過ごせる場所は、日本人の子どもも安心して居られる場所です。今回の受賞を励みに、今後も誰もが学べる社会を目指して活動していく所存です。引き続き、日本で育つ外国ルーツの子どもたちに温かい眼差しで寄り添っていただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。本日は本当にどうもありがとうございました。

特定非営利活動法人 再非行防止サポートセンター愛知 理事長 高坂 朝人 様

皆さまこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました特定非営利活動法人 再非行防止サポートセンター愛知の高坂朝人と申します。この度は 令和7年度の「社会公益賞」を頂けることとなり、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

僕たちの法人は、法人名が長いので「再サポ」と呼んでいただいています。非行少年、少女の本音と希望を基にサポートを行い、再非行を減らし笑顔を増やすことをミッションとして、2014年に仲間のみんなど設立しました。

法人設立から約11年が経ちました。この間に、出会った非行少年たちは、170人を超えました。僕たちは、有償ボランティアスタッフ17人で活動を行っています。再非行を減らすために取り組んでいるサポート内容は、主に4つです。

- ・逮捕となった少年たちに、少年院などに面会に通う施設内サポート。
- ・少年院などから親元に帰る少年たちへの在宅サポート。今まで70人以上のサポートを行いました。
- ・少年院などから社会に復帰するときに、さまざまな事情で親元に帰れない少年たちを名古屋市守山区で運営しているホームで引き受けて生活全般の支援を行う住まいのサポート。今までで100人以上のサポートを行いました。今日現在も8人の少年少女が生活をしています。

・最後の4つ目は、保護者向けのサポート。電話、メール、LINE、面談などでお話を伺わせてもらい、保護者だけが参加できる親の会も月に1回開催しています。

残念ながら、僕たちの力不足もあり、約1割の少年たちは、再非行を行うことがあります。僕たちは、自分たちの関わり方に反省をしながら、また面会に通い、本人の帰りを社会で待ちます。

なぜ、この活動を行うようになったかと言いますと、とても情けないことですし、被害者の方々には本当に申し訳ないことですが、僕自身が元犯罪者でした。13歳から道を踏み外し、約10年、犯罪を重ね続けて、少年院には2度入りました。ですが、自分の家族を含めて、さまざまな犯罪性のない信頼できる大人の人たちが、僕に真剣に向き合ってくださいました。そのおかげで僕は犯罪をやめることを決意し、今は、死ぬまで、再非行、再犯を減らす活動を続けることを固く決めています。

再サポは、元犯罪者の僕が代表である法人であり、僕たちは被害者を生み出してしまった非行少年たちをサポートしている法人でもあります。この度、「社会公益賞」を頂けたことは、今まで以上に襟を正し、まじめに、再非行を減らし笑顔を増やす活動を続けていくことの大きな力になります。

非行少年は、変わるか、変わらないか？いかがでしょうか？

僕たちは、すべての非行少年は、自分と未来は変えられる。でも1人では変えられない。という信念を持っています。非行少年にとって犯罪性のない信頼できる大人が徐々に増えて、その大人の人たちとの繋がりによって、再非行が減り、結果として被害者を増やさないと信じています。本日は誠にありがとうございました。

公益社団法人 日本海員掖済会 名古屋掖済会病院 院長 北川 喜己 様

皆さま、こんにちは。ただいまご紹介にあずかりました公益社団法人日本海員掖済会名古屋掖済会病院院長の北川喜己と申します。この度はキワニス文庫の図書贈呈先に当院をお選びいただき、誠にありがとうございました。当院小児科スタッフはもとより、全職員を代表して心より御礼申し上げます。

当院が属する日本海員掖済会は郵政の父前島密氏を中心に掖済（腋に手を添えて、導きたすける）の理念で設立され、現在は公益社団法人として全国で当院を含めて8つの病院を運営しています。名古屋には名古屋掖済会病院のほかに、埠頭診療所という名古屋港の診療所とえきさい看護専門学校という看護学校があります。

名古屋掖済会病院は名古屋市中川区にあり、1948年に診療を開始し東海地方第1号の救急救命センターを有する総合病院で、小児の入院も急性期疾患の患児が多いのが特徴です。苦しい症状や痛みを伴う検査・処置に耐える子どもたちですが、絵本や図書があることで、一時でも笑顔の時間を過ごすことができます。また保育士や医療職にとって図書は患児や家族との大切なコミュニケーションツールの一環でもあります。さらに、小児期という幅広い成長期では、興味を抱く本の内容も異なるため、それぞれの時期に合わせて読みたい本が読める、その種類を選べることはとても意義のあることで、今回このようにたくさんの本を贈呈いただけることは本当に喜びに堪えません。このご支援を励みに、今後もより一層地域の皆様のお役に立てるよう職員一同努力してまいります。本日は誠にありがとうございました。

公立西知多総合病院 院長 吉原 基 様

皆さまこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました、公立西知多総合病院院長の吉原と申します。この度は第51回キワニス文庫を贈呈いただき、誠に嬉しく光栄なものと存じます。当院全職員を代表して心より御礼申し上げます。

当院は東海市と知多市にあった二つの市民病院を統合して10年前にできた比較的新しい病院です。つい先日、開院10周年の式典を行ったばかりですが、この節目の年に、ご寄付という形で花を添えていただけたと感謝しております。

当院の、最近のトピックスとしては、愛知県がん診療拠点病院の指定、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の導入、ドクターカーの運用開始など、地域医療に貢献できるよう、新たな取り組みを行ってまいりました。

小児科では、以前より、開業医の多くが休診である日曜・祝日に、小児科医による外来診療を行うなどして、小児医療にも力を入れてきました。また、昨年からは、開院以来の念願であった分娩の取り扱いを開始することができ、この地域で安全に子どもが生まれ、健やかに育つ環境を整えることに貢献できているものと自負しております。

今回、200冊近くの子ども向け図書を寄付していただきますが、小児科病棟と外来、患者サロンの3カ所に配置し活用していく予定です。キワニスドールに関しましてはすでにご寄付いただいております、手術などで不安を抱えたお子さんの不安軽減に活用させていただきます予定です。

このご寄付により、子どもたちの病院での不安を軽減し、安心して治療を継続できる環境をまた一つ整えることが出来るものと信じております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

今後も、「すべては患者さんのために」という病院理念をもとに、さらに地域に貢献できる医療の提供を目指して努力していく所存です。

本日は、誠にありがとうございました。

名古屋市西部地域療育センター 所長 宮地 泰士 様

皆さまこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました名古屋市西部地域療育センター所長の宮地泰士と申します。このたびは第51回キワニス文庫の贈呈を賜り、誠にありがとうございました。

当センターは、地域療育の中核となる専門機関として、平成5年に設置されました。名古屋市の中村区・中川区・港区を担当し、子どもの発達や養育についての相談に応じ、お子様とご家族の状況に合わせた発達支援を行っています。発達支援には、外来診療の他に親子で通う療育の教室、リハビリテーション、そして幼児期のお子様達が毎日通う通園、地域の関係施設と連携し生活を援助する地域相談支援があります。

日々の活動を通して、子どもたちの発達においては、本は非常に大切なものであると感じております。子どもたちにとって、本を通して人とのコミュニケーション、言葉、そして情緒の発達が育まれていると感じております。この度、キワニス文庫贈呈のお話を賜り、職員一同心から感謝するとともに、贈呈いただいた図書を活用して、より一層子どもたちやご家族の支援に尽力していく所存です。

最後になりますが、名古屋キワニスクラブ様の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げて、御礼の挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

☆会務報告

- ・ 本日例会終了後、パインの間で青少年委員会を開催致します。ご関係の方はお集まり下さい。
- ・ 令和8年度の会員名簿アンケートのご回答につきましては、締切りを過ぎました。まだご回答頂いていない方は、ご確認の上、至急ご回答下さいますようお願い致します。
- ・ 8月29日(金)は持出例会です。場所は名古屋ビルディング オルクドールにて開催いたします。通常の会場とは異なりますので、ご注意ください。
- ・ 11月21日(金)に持出夜間例会を開催します。会場は10月に開業されますエスパシオ ナゴヤキャッスルで、シニアソムリエール 島 幸子さんを講師にお招きして開催します。詳細はHPのご案内等をご覧ください。
- ・ 7月29日(火)に開催される「新入会員の皆様との懇親会」ですが、参加お申込みの方に確認書をお送りしました。お申込み頂いて確認書が届いていない場合は、事務局までお知らせください。
- ・ 次のゴルフ会は、11月1日(土)に中京ゴルフ倶楽部 石野コースで開催します。オープン参加も大歓迎ですので、ぜひご参加下さい。
- ・ ご好評を頂いております音楽と観劇の会ですが、この次は10月15日(水)・20日(月)に歌舞伎『八代目 尾上菊五郎 襲名披露 六代目 尾上菊之助 襲名披露 第五十一回 吉例顔見世』を鑑賞致します。奮ってご参加ください。

☆ハッピーボックス

池田 桂子会員ーラッキー賞に当り幸運をおすそ分けします

◎次回例会 令和7年7月25日(金)◎

岐阜大学 客員教授

名古屋都市センター 特任アドバイザー 加藤 義人 氏

「リニア時代の名古屋創生ー衰退前夜の名古屋の行方ー」

♪申込み受付中の行事

第319回ゴルフ会

締切【10/10】

日時：令和7年11月1日(土) 8:30頃スタート

場所：中京ゴルフ倶楽部 石野コース

音楽と観劇の会

～歌舞伎『八代目 尾上菊五郎 襲名披露 六代目 尾上菊之助 襲名披露 第五十一回 吉例顔見世』～ 締切【7/25】

日時：令和7年10月15日(水) 11:00開演

令和7年10月20日(月) 16:00開演

場所：御園座